



診療科のご案内

大阪母子医療センター 麻酔科



麻酔科は当センターが開設された1981年から、産科麻酔、小児麻酔そして小児集中治療の診療に取り組んできました。現在は産科・小児の麻酔科管理件数は年間約5200件で、当センター開設以来の麻酔科管理症例数は12万件以上となりました。いつでも緊急手術を受け入れられる体制を維持し、手術部看護師とともに頑張っています。2013年に麻酔集中治療科から集中治療科が独立し、現在我々は麻酔に関連した業務に専従していますが、以前と変わらず集中治療科との強い連携体制が当センター麻酔科の強みでもあります。



術前から術後まで、一人一人に丁寧な全身管理を

時代が変わっても変わらないことがあります。その一つが、手術を受ける患者さんの不安や恐怖感です。我々麻酔科医は手術室看護師、ホスピタルプレイス、病棟看護師と共に、手術室入室時の患者さんの不安や恐怖感を少しでも軽減できるよう、様々な工夫をしています。また、術後急性期の不適切な疼痛管理は慢性疼痛へと移行し、その後の知的運動発達や生活に大きな影響を与えることがわかっています。当センターでは新生児においても、超音波ガイド下に神経ブロックを積極的に施行し、より安全で確実な術後疼痛管理を行っています。2023年からは手術室看護師や薬剤師と術後疼痛管理チームを立ち上げ、より丁寧な術後疼痛管理を行っています。



「ベストな手術」に麻酔科医が貢献できること

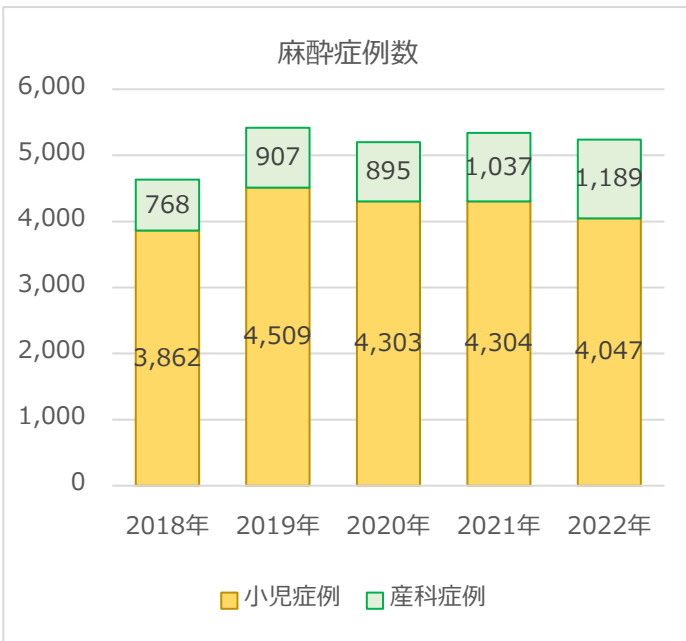
手術の際、患者さんははじめご家族が、最良の手術を受け、元気に退院できることを願われることは当然です。麻酔科医は直接手術にかかわることはありませんが、患者さんにより良い手術を受けていただくために貢献できることがあります。それは手術をされる先生方に手術に集中していただく環境をすることです。集中して行った手術の完成度はより高いと考えます。麻酔科医が患者さんの全身管理を適切に行い、安定した全身状態を維持すること、その他、外科の先生方が手術に集中できるよう様々な配慮をすること、それら全てがベストな手術に繋がると考えます。我々麻酔科内では、この点を目標の1つとして麻酔管理を行っています。





手術室外での麻酔科管理

小児のMRI検査では鎮静を必要とする
 ことが多く、当センターは2018年より、
 鎮静を必要とする小児MRI検査は、原則麻酔科管
 理としています。鎮静できずに検査が中止になっ
 たり、途中で覚醒して検査を完遂できなかった症
 例は「ゼロ」です。安全に、そして目標とする検
 査を完遂できることは、患者さんにとって大きな
 意味があります。



もう一つは無痛分娩です。24時間365日、いつ
 でも麻酔科医が対応できる体制を取っていま
 す。無痛分娩のご希望は年々増加しています。
 引き続き妊婦さんに寄り添った、安全で安心な
 分娩をしていただけるよう、産科医師、助産
 師、新生児科医師と連携しながら丁寧な無痛分
 娩を提供していきたいと考えています。今後と
 も大阪母子医療センター麻酔科をよろしく願
 いいたします。



麻酔科ホームページ

子どもの手術は当センターにお任せください

- ・小児の麻酔、看護に精通しています。
- ・チームでの医療を実践しています。
- ・家族の付き添いが必須ではありません。



泉北高速鉄道 光明池駅 徒歩5分

大阪母子医療センター

初診予約：患者支援センター 〒594-1101 和泉市室堂町 840 TEL0725-56-1220 (代表)

FAX **0725-56-5605** (24時間受付：午後7時以降受領のFAXの回答は次の受付開始後です)



(2023年9月発行)